

## Ⅱ 当初予算案の主な施策

### 1 総合計画の推進 ～「くらし満足度日本一」の千葉の実現～

#### 〈安全・安心のまちづくり〉

- 機動力を活かした防犯体制の一層の充実を図るため、**移動交番車**を、犯罪が多く発生している12署で増強し、全50台、専従警察官100名体制で治安の向上に努めます。
- 街頭犯罪を防ぐため、**地域安全パトロール**隊の配置を18署から20署に拡充するとともに、電話による直接的な防犯指導を行う**振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター**事業を実施し、犯罪の起こりにくいまちづくりを推進します。
- 緊急輸送道路に架かる橋など、重要な**橋りょうの耐震補強**工事を前倒しして進めるほか、子どもたちが安心して学習できるよう、**県立学校の耐震化**の予算を倍増し、前倒しして実施するとともに、**私立学校の耐震化**に助成します。
- 発災時に迅速な初動体制を確立するため、県庁内に常設の（仮称）**危機管理防災センター**を整備するとともに、消防学校や防災センター等の機能を持つ**総合防災拠点**の整備に向けた設計を行うほか、感染症や食中毒などの健康危機への対応拠点である**衛生研究所**の建替に向けた調査・設計を行うなど、安全・安心のまちづくりを推進します。

◎移動交番車配備事業	1億52百万円（本書20頁、別冊1頁）
◎地域安全パトロール事業	3億90百万円（本書20頁、別冊2頁）
◎振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業	98百万円（本書21頁、別冊3頁）
◎橋りょう耐震化事業	10億円（本書26頁、別冊4頁）
◎県立学校耐震化推進事業	51億15百万円（本書27頁、別冊5頁）
◎私立学校耐震化緊急促進事業	9億52百万円（本書27頁、別冊6頁）
◎（仮称）危機管理防災センター整備事業	2億50百万円（本書24頁、別冊7頁）
◎総合防災拠点基本設計業務委託事業【新規】	30百万円（本書24頁、別冊8頁）
◎衛生研究所建替事業【新規】	45百万円（本書30頁、別冊9頁）

## 〈医療・福祉の充実〉

- 県民が安心して良質な医療を受けられるよう、医師や看護師に修学資金を貸し付けるなど、**医師、看護師の確保対策**を推進するとともに、**ドクターヘリの格納庫**を含む**救命救急センター**や、周産期医療施設の施設・設備などに対して助成を行うなど、医療提供体制を整備します。
- 耐震性の不足する**がんセンター**の西病棟に替わる新病棟等の基本計画の策定を行うとともに、老朽化、患者受入数の増加への対応などのため、**救急医療センターと精神科医療センター**の一体的な整備に向けた検討・調査を行います。
- 山武長生夷隅医療圏の中核病院となる**東金九十九里地域医療センター**の整備に対して助成するほか、患者数が増加しているがん対策として、**地域がん診療連携拠点病院**の機能強化を図るとともに、**緩和ケア病棟**の整備などに助成します。
- 入所希望者が増えている**特別養護老人ホーム**の整備に対して1床当たり400万円の補助を継続するとともに、市町村が行う**介護予防事業**等に対する助成を行います。
- 障害のある人の地域での生活を支えるため、**グループホーム**の整備などに助成するとともに、強度行動障害者が地域で生活できるよう**ケアホーム**の整備を進めるモデル事業を実施します。

◎医師確保関係事業【一部新規】	5億47百万円（本書 39頁、別冊10頁）
◎看護師確保・育成事業【一部新規】	4億97百万円（本書34・40頁、別冊11頁）
◎救命救急センター等整備事業【新規】	6億51百万円（本書 35頁、別冊12頁）
◎周産期関連事業	7億30百万円（本書40・42頁、別冊13頁）
◎がんセンター施設整備事業（特別会計病院事業）	12百万円（本書132頁、別冊14頁）
◎救急医療センター・精神科医療センター施設整備検討事業 （特別会計病院事業）【新規】	13百万円（本書132頁、別冊15頁）
◎東金九十九里地域医療センター助成事業	2億88百万円（本書 37頁、別冊16頁）
◎がん対策関連事業【一部新規】	7億69百万円（本書 44頁、別冊17頁）
◎特別養護老人ホーム建設事業補助	20億円（本書 46頁、別冊18頁）
◎介護保険市町村等支援事業【新規】	80百万円（本書 48頁、別冊19頁）
◎障害者グループホーム等に対する支援	4億89百万円（本書 49頁、別冊20頁）
◎強度行動障害のある方への支援体制構築事業【新規】 債務負担行為	34百万円（本書 50頁、別冊21頁）

## 〈笑顔輝く子どもを育てる県づくり〉

- 子ども医療費助成**については、これまでも、助成対象の拡充を図ってきたところですが、平成24年度は、入院の助成対象を現在の小学校3年生から中学校3年生まで拡大し、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担のさらなる軽減を図ります。
- 保育所の待機児童の早期解消を図るため、民間保育所の施設整備に対する助成を拡充するとともに県独自の加算措置を継続し、緊急的に**保育所の整備**を促進するほか、**放課後児童クラブ**を実施する市町村へ助成する放課後児童健全育成事業を行うなど、地域における子育て支援体制の充実を図ります。
- 私立学校経常費補助**については、国標準単価を措置するとともに、高等学校では14,000円、幼稚園では1,700円を県単独で上乗せするなど、一層の拡充を図ります。
- 県立高等学校において、生活全般の介助を必要とする生徒を支援するため、**特別支援教育支援員**を配置するとともに、特別支援学校の児童生徒の増加に伴う教室不足に対応するため、旧湖北高校の校舎を改修し、我孫子特別支援学校高等部を移転するなど、**特別支援学校**の分校・分教室等を6箇所整備します。
- 狭隘で老朽化が著しい児童養護施設「**富浦学園**」を平成25年3月の開所に向けて整備するとともに、要保護児童の増加に対応するため、**民間の児童養護施設**の整備に助成します。
- ひきこもりやニート、不登校など、問題を抱える子ども・若者を総合的に支援するため、千葉県青少年女性会館内に**ワンストップ相談窓口**を新たに設置し、多様化する青少年問題への取組を進めます。

◎子ども医療費助成事業	59億29百万円（本書66頁、別冊22頁）
◎保育所緊急整備事業	34億39百万円（本書66頁、別冊23頁）
◎保育所整備促進事業	10億円（本書67頁、別冊23頁）
◎放課後児童健全育成事業	17億58百万円（本書68頁、別冊24頁）
◎私立学校経常費補助（一般補助）	343億61百万円（本書76頁、別冊25頁）
◎高等学校特別支援教育支援員配置事業【新規】	13百万円（本書80頁、別冊26頁）
◎特別支援学校分校・分教室等整備事業	2億32百万円（本書80頁、別冊27頁）
◎富浦学園施設整備事業	4億41百万円（本書69頁、別冊28頁）
◎児童養護施設整備促進事業	4億33百万円（本書69頁、別冊29頁）
◎子ども・若者育成支援推進事業【新規】	11百万円（本書81頁、別冊30頁）

## 〈観光と魅力あふれる県づくり〉

- 千葉県魅力を広く海外にPRするとともに、県産農林水産物の販路拡大や外客の誘致を図るため、**海外での知事のトップセールス**や、台湾の大学生や海外メディアなどを対象とした**モニターツアー**等を実施します。
- 各種メディアを活用した千葉の魅力発信推進事業や、平成24年4月に開業する木更津市金田地区のアウトレットパーク内に**観光情報センター**を開設するなど、観光プロモーション事業を展開することにより、千葉県の知名度アップや、観光客の増加、**県産農林水産物のイメージアップ**等を図り、本県経済の活性化を促進します。
- 東日本大震災により減少した観光客数の回復を図るため、市町村が千葉県道路公社所管の有料道路の無料往復通行券を、地域の観光プロモーションで活用する事業に対し助成する「**がんばろう!千葉**」**有料道路利用観光振興**事業を実施します。
- 千葉県観光の新たな魅力の一つとして、**サイクルツーリズム**の拡大・定着を図るため、広域的な取組に対し助成するとともに、観光地の魅力向上を図るため、観光関連施設の整備に対して助成する**観光地魅力アップ緊急整備**事業を実施します。
- 「ちばを走ろう～アクアラインの風にのって～」をキャッチコピーに、千葉県の持つ様々な魅力を県内外に強くアピールするため、10月21日(日)に「**ちばアクアラインマラソン**」を開催します。
- 年間発着枠30万回化、ローコストキャリアの相次ぐ就航など、大きく状況が変化している成田空港をめぐる動きを県勢発展やビジネスチャンスへと活かすための検討を行う**グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議**を開催します。

◎東アジア及び東南アジアにおける知事トップセールス

20百万円(本書82頁、別冊31頁)

◎外国人による千葉県体験モニターツアー・情報発信事業【新規】

25百万円(本書82頁、別冊32頁)

◎千葉の魅力発信推進事業

1億51百万円(本書82頁、別冊33頁)

◎観光プロモーション事業【一部新規】

1億60百万円(本書83頁、別冊34頁)

◎県産農林水産物魅力発信事業

31百万円(本書83頁、別冊35頁)

◎「がんばろう!千葉」有料道路利用観光振興事業【新規】

32百万円(本書87頁、別冊36頁)

◎サイクルツーリズム推進事業

16百万円(本書87頁、別冊37頁)

◎観光地魅力アップ緊急整備事業

1億40百万円(本書88頁、別冊38頁)

◎ちばアクアラインマラソン開催事業

93百万円(本書86頁、別冊39頁)

◎グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議運営事業

3百万円(本書85頁、別冊40頁)

## 〈雇用・産業振興、交流基盤の整備〉

- 経済・雇用情勢が依然として厳しい中、新卒未就職者に基礎研修と職場実習を実施し、早期の就職を支援するとともに、中高年齢者や女性に定着支援セミナーを行うなど、求職者に対する**就労支援**に取り組みます。
- 県内中小企業の経営基盤の安定のため**中小企業振興資金**の融資枠を5,700億円に拡大するほか、中小企業の企業グループの育成を通じた受注機会の拡大を図る千葉県**中小企業連携強化推進**事業を実施するとともに、県内各地の商店街が個々に抱える課題を把握し、**地域商業の活性化**につなげる新たな支援策を検討します。
- 本県農業の主力である園芸農業の生産力を強化拡大するため、専門家等からなる**サポートチーム**による**産地改善**や、施設・機械の整備に対して助成する「**輝け！ちばの園芸**」**産地整備支援**事業に取り組むほか、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着のため、新規就農者に給付金を支給し、新たな担い手づくりの推進を図る**青年就農者確保・育成**給付金事業を実施します。
- イノシシなどの有害鳥獣**による農作物被害を防止するための事業を拡充するとともに、県内で被害が拡大している**松くい虫対策**を実施し、海岸保安林の機能維持を図ります。
- 銚子漁港及び勝浦漁港の老朽化した施設を再整備して、魚価の向上と産地間競争力の強化を図る**拠点漁港機能強化**事業に取り組みます。
- 平成24年度に東金から木更津間が開通する**圏央道**など、広域的な幹線道路の整備を促進するとともに、ふさのくに観光道路ネットワーク事業に着手するなど、地域に密着した道路の整備を推進します。
- 橋りょうなどの**長寿命化対策**に取り組むとともに、**舗装道路修繕**事業を拡充し、中長期的な事業費の縮減、平準化を図ります。

◎新卒未就職者人材育成事業	7億56百万円（本書 94頁、別冊41頁）
◎（仮称）千葉県生活・就業支援センター事業	54百万円（本書 94頁、別冊42頁）
◎中小企業振興資金融資枠	5,700億円（本書 91頁、別冊43頁）
◎千葉県中小企業連携強化推進事業【新規】	15百万円（本書 91頁、別冊44頁）
◎千葉県地域商業活性化事業【一部新規】	43百万円（本書 92頁、別冊45頁）
◎ちばの園芸産地活性化支援事業【新規】	10百万円（本書 96頁、別冊46頁）
◎「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業	3億円（本書 96頁、別冊47頁）
◎青年就農者確保・育成給付金事業【新規】	2億88百万円（本書100頁、別冊48頁）
◎イノシシ等有害獣被害防止対策事業	1億91百万円（本書104頁、別冊49頁）
◎野生鳥獣総合対策事業	80百万円（本書 63頁、別冊49頁）
◎森林病虫害防除事業	1億36百万円（本書105頁、別冊50頁）
◎拠点漁港機能強化事業【新規】	3億38百万円（本書 99頁、別冊51頁）
◎圏央道に係る直轄事業負担金	58億円（本書109頁、別冊52頁）
◎圏央道インターチェンジへのアクセス強化事業	5億68百万円（本書108頁、別冊53頁）
◎ふさのくに観光道路ネットワーク事業【新規】	4億34百万円（本書108頁、別冊54頁）
◎長寿命化対策事業	30億3百万円（本書110頁、別冊55頁）
◎舗装道路修繕事業	55億円（本書108頁、別冊56頁）

## 2 東日本大震災への対応 ～「災害に強い元気な千葉県づくり」～

### 〈市町村及び被災者への支援〉

- 市町村が地域の実情に応じて行う住民生活の安定や地域コミュニティの再生等のため、基金を活用し、「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金として20億円を県内全市町村を対象に交付します。
- 被災者の住宅再建を支援するため、被災者住宅再建支援金事業及び被災者住宅再建資金利子補給事業の事業期間を2年間延長します。
- 災害時における障害者の避難場所である福祉避難所を拡充するため、施設等の整備に對して助成します。

◎「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金【新規】	20億円（本書114頁、別冊57頁）
◎被災者住宅再建支援金事業	35億円（本書115頁、別冊58頁）
◎被災者住宅再建資金利子補給事業	2億円 (債務負担行為4億円)（本書115頁、別冊59頁）
◎障害者のための災害時防災拠点整備事業【新規】	72百万円（本書117頁、別冊60頁）

### 〈放射性物質対策、新エネルギー対策〉

- モニタリングポスト等による環境放射能調査を継続するほか、土壌や河川・湖沼などの放射性物質の状況を調査するため、ゲルマニウム半導体検出器や可搬型モニタリングポストを整備するなど放射能に対する監視・調査体制の整備・強化を行うとともに、農林水産物等の放射性物質の検査を実施し、放射性物質からの県民の安全・安心を確保します。
- 家庭における電力抑制・省エネルギー対策等を一層促進するため、住宅用太陽光発電設備の設置経費に対する助成を拡充します。
- 新エネルギーの導入について、市町村や民間事業者等が行う公共・公益を目的とした事業に対して助成するとともに、本県の様々な政策課題における新エネルギーの活用可能性を調査します。

◎環境放射能水準調査事業	29百万円（本書118頁、別冊61頁）
◎放射能に対する監視・調査体制の整備・強化	42百万円（本書118頁、別冊62頁）
◎農林水産物等放射性物質対策事業	26百万円（本書118頁、別冊63頁）
◎太陽光発電設備導入補助事業	3億円（本書119頁、別冊64頁）
◎千葉県新エネルギー等活用推進事業【新規】	60百万円（本書119頁、別冊65頁）
◎千葉県新エネルギー導入促進総合検討調査事業【新規】	10百万円（本書119頁、別冊66頁）

## 〈インフラの復旧、災害の予防〉

- 被災した農業用施設等の**災害復旧事業**を引き続き進めるほか、大震災による液状化で甚大な被害が出ている**香取市佐原地区**の県機関の庁舎を老朽化の著しい庁舎と併せて**合同庁舎**化し、庁舎建設費等の縮減を図るとともに、香取市の施設との隣接などにより県民の利便性の向上を図ります。
- 大きな津波被害を受けた九十九里沿岸において、再度被災防止を目的に河川及び海岸堤防のかさ上げや構造の強化を図る**河川海岸津波対策事業**を実施するとともに、津波発生時に後背地の浸水被害を防止するための**水門操作遠隔化システム**を整備します。
- 防災の観点から安全・安心なまちづくりを促進するため、市町村マスタープランの策定を支援する**災害に強いまちづくりマニュアル**を策定するなど、災害の予防に努めるとともに、災害復旧の迅速化等に資するため、土地の所有者及び境界等を確定する地籍調査を大幅に拡充します。

◎農業用施設等の災害復旧事業	18億64百万円（本書120頁、別冊67頁）
◎香取合同庁舎再整備事業【新規】	25百万円（本書120頁、別冊68頁）
◎河川海岸津波対策事業【新規】	11億円（本書122頁、別冊69頁）
◎水門操作遠隔化システム整備事業【新規】	3億円（本書122頁、別冊70頁）
◎災害に強いまちづくりマニュアル策定事業【新規】	12百万円（本書122頁、別冊71頁）
◎地籍調査事業	5億66百万円（本書121頁、別冊72頁）

